## や社会福祉法人



進和学園は作業工程や 器具を工夫 (平塚市)

障害者に目の不自由な人向け表示シールの開発に 参画してもらう。

和学園(平塚市)は5日、障害者が働く食品工場 引き出す動きが広がっている。社会福祉法人の進 者と同水準の生産性を目指す。ファンケルは視覚 を新設。作業工程や器具を工夫することで、 神奈川県内の企業や事業所で、障害者の能力を

専用器具で作業容易 進和学園

弱視向け製品の ファンケル

> 年5000万円の売り上 20~30人体制に拡大し、

けを目指す。

同工場では障害者らが

で、複雑な作業を減らし 程を細かく分けること た。進和学園の久保寺一 用の器具を導入。製造工

者らが働く就労支援施設

(平塚市) に9100万 「しんわルネッサンス」

進和学園は、知的障害

る。「湘南工房」のブラ る。地元の農家からトマ 当初は10人程度が就労す 平方どの作業場を設置、 レ、ジャムなどを製造す ジュースやトマトピュー トなどを仕入れ、トマト を新設する。既存の施設 円を投じ、食品加工工場 の空きスペースに346 ンド名で販売し、5年で 障害者の雇用義務拡大

やすいようにシールを黒 分を改良。弱視の人が見 に分かるように凸凹の部 新した。指で触れてすぐ ッチマークシール」を刷 ように凸凹を付けた「タ 入った容器を区別できる の不自由な人が化粧品の ファンケルは5月、目 助言や改善案などを取り 入れた。

音声ガイドと一緒に発送 シールを貼り、使い方の 文すると、個別に容器に 入。目の不自由な人が通 信販売などで化粧品を注 ッチマークシールを導 同社は1998年にタ

く縁取りし、文字を大き くした。視覚障害者の従 業員3人をシールの改良 チームに加え、具体的な り直す必要があると判断 が商品を刷新したのを受 シールを分かりやすく作 け、容器も大幅に変更。

かせば3人で3人分の作

ても、個々人の長所を生 1人分の作業ができなく

業ができる」と話す。

る。給与は健常者と同じ一する。 | 員などとして働いてい | のノウハウを他社に提供 ケアマネジャーや介護職 浜市)は19人の障害者が 祉法人伸こう福祉会(横 育事業を展開する社会福 神奈川県内で介護・保

する。2012年に同社 務で可能とし、体調面な どにも配慮する。

雇用率が7割を超す同社 昨秋から始めた。障害者 コンサルティング事業を どを手掛ける日総ぴゅあ で事務代行業や清掃業な (横浜市)の特例子会社 (同) は、障害者雇用の 製造派遣の日総工産

## 県内就労件数、13年度最

と、13年度にハローワー

神奈川労働局による

神奈川県内の企業や事 | を急ぐ背景には、障害者 障害者雇用数は増加が続く 3500 / 件 3000 新規の就職件数 2500 2000 1500 1000 500 2009年度 10 12 13 11

の芯を取り除く作業に専 通常は包丁を使うトマト 作業をしやすいように、

男統括施設長は「1人で一業所が障害者の「戦力化」一の雇用義務の範囲が広が一納める必要がある。

用数が義務より少なけれ 拡大した。従業員200 56人以上から50人以上に き上げられ、従業員数も けられる障害者の雇用率 3年4月に企業に義務付 が1・8%から2%に引 ったことがある。201 人超の企業は障害者の雇 不足1人あたり原則

ることも重要だ」と指摘 は、働く環境の整備など 労が広がるなか、同局は 課題も多い。障害者の就 高を更新した。ただ、障 ために成功事例を共有す 害者を戦力化していくに だった。前の年度に比べ て26・5%増え、過去最 の就労件数は3434件 クを通じた県内の障害者 「職場に定着してもらう

月5万円の納付金を国に